

銘柄紹介

富士ダイス [6167・100 株] 6月25日 東証2部市場上場

2015年6月5日(金)
更新: 8時52分
株式会社フィスコ

超硬工具を手掛ける東証2部案件

投資スタンスと初値メド

ブックビルディング参加	
初値投資	
初値メド	

市場の注目度	
想定仮条件レンジ	450円～500円
予想PER	10.2倍(連)～11.4倍(連)
予想トレーディングレンジ 期間: 上場後1年を想定	400円～600円
予想PER	9.1倍(連)～13.6倍(連)

印は5段階評価

日程

仮条件提示	6月5日
ブックビルディング期間	6月9日～6月15日
公開価格決定	6月16日
申込期間	6月17日～6月22日
払込日	-
上場日	6月25日

類似会社 3社

平均PER	36.0倍	1,584円
東邦金属<5781>	81.9倍	3,604円
ダイジェット工業<6138>	15.8倍(連)	695円
日タングス<6998>	10.2倍(連)	449円

(PERは6月4日終値の会社側予想ベース)

超硬工具(耐摩耗工具) 超硬合金の製造販売を手掛ける。顧客の使用環境やニーズを的確に捉えるための直販方式、製造に必要な工程を全てグループ内で完結できる一貫生産体制が強み。また、自動車など幅広い業種で同社製品が使用されていることや、アジア5ヶ国に拠点を有するなどグローバルネットワークを構築していることも大きな特徴となる。

今年3社目の東証2部上場のIPOとなるが、ここまでは東証2部案件の低パフォーマンス傾向が目立っている。公開規模がやや大きいことも初値の押し下げ要因となるほか、同日3社上場となり同社に初値買いが向かいにくい点も逆風となる。

公開規模については25億円程度となる見込み。ベンチャーキャピタル保有株はないものの、買い意欲の盛り上がり期待しにくいなか、需給懸念が強まるだろう。

銘柄紹介

富士ダイス [6167・100 株] 6月25日 東証2部市場上場

2015年6月5日(金)
更新：8時52分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2011/3	13,925	—	1,189	—	742	—
2012/3	14,305	2.7%	1,235	3.9%	696	-6.2%
2013/3	13,665	-4.5%	679	-45.0%	488	-29.9%
2014/3	13,780	0.8%	868	27.8%	589	20.7%
2015/3 予	-	—	-	—	-	—

連結業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2013/3	14,637	—	811	—	578	—
2014/3	15,041	2.8%	1,088	34.2%	732	26.6%
2015/3	16,251	8.0%	1,130	3.9%	767	4.8%
2016/3 予	16,897	4.0%	1,201	6.3%	880	14.7%
予想 EPS / 配当		単独：-円 連結：44.00円(上場時発行済株式数で試算) / -円				

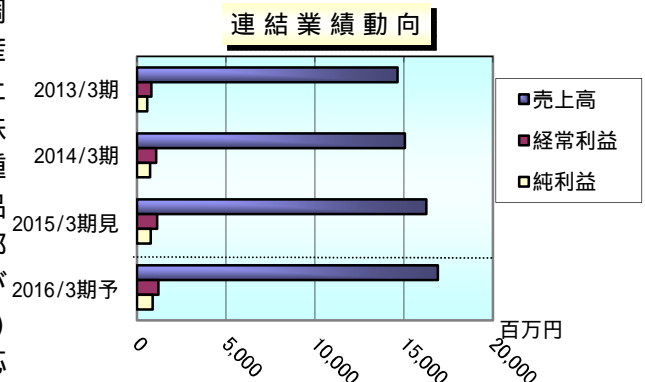
業績コメント

2015年3月期の業績は、売上高が前期比8.0%増の162.5億円、経常利益が同3.9%増の11.3億円と増収増益となっている。

足元では、超硬製工具類では、顧客の設備増強を背景に鉄鋼向け熱間圧延ロールの売上高が増加し、超高圧発生用工具についても在庫補充や工具需要の高まりによって増加するなど好調に推移した。超硬製金型類では、自動車部品生産用金型の売上高が増加し、製缶金型などの売上高が堅調に推移した。一方、デジタルカメラの生産減少に伴って光学素子成型用金型の売上高が減少した。その他の超硬製品では、鉄鋼関連および海外の自動車部品向け各種部品の売上高が増加した。超硬以外の製品では、積極的に拡販に取り組んだ自動車部品生産用の鋼製品(鍛造金型)の売上高が増加し、また鋼製品(飲料缶生産用金型)の売上高が設備増強による需要増に対応

して増加した。更には、加工用工具のダイヤモンド研削砥石の売上高が海外のスマートフォン関連やハードディスク向けで増加した。

なお、2016年3月期の業績は、売上高が前期比4.0%増の168.9億円、経常利益が同6.3%増の12.0億円と増収増益が続く見通しとなっている。



銘柄紹介

富士ダイス [6167・100 株] 6月25日 東証2部市場上場

2015年6月5日(金)
更新：8時52分
株式会社フィスコ

基本概要	
所在地	東京都大田区下丸子二丁目
代表者名(生年月日)	代表取締役社長 木下徳彦(昭和20年8月20日生)
設立	昭和31年4月3日
資本金	1億6400万円(平成27年5月22日現在)
従業員数	新規上場会社883人 連結会社1058人 (平成27年4月30日現在)
発行済株式数(上場時)	20,000,000株(予定)
公開株式数	公募株 売出4,415,000株 (オーバーアロットメントによる売出662,000株)
想定公開規模	22.8億円～25.4億円(OA含む)
事業内容	超硬工具(耐摩耗工具)、超硬合金の製造販売

売上高構成比率 (2014/3期実績)		
品目	金額	比率
超硬製工具類	3,964 百万円	26.4 %
超硬製金型類	3,734 百万円	24.8 %
その他の超硬製品	3,428 百万円	22.8 %
超硬以外の製品	3,914 百万円	26.0 %
合計	15,041 百万円	100.0 %

幹事証券団 (予定)			
	証券会社名	引受株数	引受シェア
主幹事証券	野村證券(株)	未定	未定
幹事証券	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	未定	未定
幹事証券	みずほ証券(株)	未定	未定
幹事証券	SMB C日興証券(株)	未定	未定
幹事証券	SMB Cフレンド証券(株)	未定	未定

銘柄紹介

富士ダイス [6167・100 株] 6月25日 東証2部市場上場

2015年6月5日(金)
更新: 8時52分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

大株主上位10位

順位	株主名	保有株数	保有シェア
1	富士ダイス社員持株会	3,657,900 株	18.29 %
2	株式会社TSK	3,215,000 株	16.08 %
3	木下 美佐子	2,295,800 株	11.48 %
4	新庄 美智子	2,280,800 株	11.40 %
5	新庄 由美子	2,275,800 株	11.38 %
6	矢作 玲子	2,130,200 株	10.65 %
7	新庄 敦子	855,000 株	4.28 %
8	木下 徳彦	249,300 株	1.25 %
9	矢作 恒雄	142,500 株	0.71 %
10	市田 忠昭	120,000 株	0.60 %
10	高根 省吾	120,000 株	0.60 %
10	中田 勲	120,000 株	0.60 %
10	長野 秀之助	120,000 株	0.60 %
10	前嶋 康宏	120,000 株	0.60 %
10	柳生 和高	120,000 株	0.60 %
合計		17,822,300 株	89.12 %

その他情報

手取金の使途	-	
関係会社	新和ダイス株式会社(連結子会社)耐摩耗工具等の製造 富士シャフト株式会社(連結子会社)引抜鋼管の製造販売 FUJILLOY (THAILAND) CO.,LTD(連結子会社)耐摩耗工具等の製造販売 富士模具貿易(上海)有限公司(連結子会社)耐摩耗工具等の販売 PT.FUJILLOY INDONESIA(連結子会社)耐摩耗工具等の製造販売 FUJILLOY INDIA PRIVATE LIMITED(連結子会社)耐摩耗工具等の販売 FUJILLOY MALAYSIA SDN.BHD.(連結子会社)耐摩耗工具等の販売	
VC売却可能分(推定)	- 社 - 株(売出し・保有期間などの制限があるもの以外)	
直近有償第三者割当	年月日	2014年6月10日
	割当先	富士ダイス社員持株会
	発行価格	85円 株式分割を考慮済み

銘柄紹介

富士ダイス [6167・100 株] 6月25日 東証2部市場上場

2015年6月5日(金)
更新：8時52分
株式会社フィスコ

銘柄紹介

同社は、超硬合金を用いた耐摩耗工具およびその素材である超硬合金チップの製造販売を主な事業としている。グループは、同社および子会社7社で構成される。

超硬合金は、タングステンカーバイドに代表される硬質の金属炭化物と、コバルトなどの鉄系金属を粉末状にして混ぜ合わせ、型に入れて成形し、高温で焼き固める方法(粉末冶金法)によって作られる合金である。鋼よりも硬く、変形しにくいという特性を有する。同方法で作られる超硬合金は、精密加工が施されて、主に塑性(切屑の出ない)加工に用いられる高精度かつ耐摩耗性に優れた工具・金型(耐摩耗工具)となるほか、一部は中間製品である超硬合金チップとしても販売される。

超硬合金を用いた耐摩耗工具は、一般的に用いられる鋼製の工具等よりも摩耗・変形しにくいいため、生産工程に効果的に用いることにより、被加工材を加工する速度や精度が向上し、生産性改善が可能となる。

同社では、超硬合金を用いた製品は「超硬製工具類」、「超硬製金型類」、「その他の超硬製品」に分類され、輸送用機械、鉄鋼、非鉄金属、飲料缶に代表される金属製品、電機・電子部品、生産・業務用機械等の幅広い分野で使用されている。

また、同社グループは、超硬合金の精密加工で培った加工技術、検査技術を活用し、超硬合金以外の素材(鋼やセラミックスなど)を用いた耐摩耗工具等の製造販売も行っている。

顧客の生産工程で用いられる工具・金型は、使用される過程で摩擦・圧力・熱等による摩耗、変形・割れ等によって寿命を迎えるが、その要因やスピードは、工具・金

型を使用する環境によって様々である。その結果、耐摩耗工具には、顧客の設計思想や生産プロセスが色濃く反映されることとなるため、耐摩耗工具のほとんどは、顧客ごとのカスタムメイドとなる。そこで、同社グループでは、顧客のニーズを的確に捉え、個別受注の多品種少量生産に対応する体制を整備している。

営業体制は、国内17箇所、アジア5箇所(中国、タイ、インドネシア、インド、マレーシア)の営業拠点に約100名の営業担当者を配置している。これらの営業担当者が、直接顧客を訪問し、緊密なコミュニケーションを図ることによって、顧客ニーズを的確に把握することができる体制をとっている。

また、超硬合金に関する専門的な知識を持つ技術サービス員や、工具・金型等の生産を担う生産部門の技術者が営業担当者をサポートし、超硬合金素材や加工方法の選定から、製品の管理に至るまで、高度な提案を行うことができる体制を整備している。



新規公開株レポート



銘柄紹介

富士ダイス [6167・100 株]
6月25日 東証2部市場上場2015年6月5日(金)
更新：8時52分
株式会社フィスコ

投資のポイント

今年3社目の東証2部上場のIPOとなるが、2/20 上場のホクリョウ<1384>（公開規模 11.6 億円）が公開価格 460 円に対して初値 501 円（+8.9%）、4/21 のシーアールイー<3458>（同 60.7 億円）が公開価格 3620 円に対して初値 3355 円（-7.3%）となっており、東証2部案件の低パフォーマンス傾向が目立っている。公開規模がやや大きいことも初値の押し下げ要因となり、投資家の警戒感を強めるだろう。さらに、同日3社上場となるため、同社に初値買いが向かいにくい点も逆風となる。

同社は、ダイス、プラグ、自動車部品生産用金型など、超硬合金を用いた耐摩耗工具の製造販売を主力事業としている。顧客の使用環境やニーズを的確に捉えるための直販方式を採用している点や、製造に必要な工程を全てグループ内で完結できる一貫生産体制を整備している点が強み。また、自動車など幅広い業種で同社製品が使用されていることや、アジア5ヶ国にも拠点を有するなどグローバルネットワークを構築していることも大きな特徴となる。

業績面について、2016年3月期は売上高が前期比4.0%増の168.9億円、経常利益が同6.3%増の12.0億円と増収増益が続く見通しとなっている。直近数期の業績は堅調に推移しているが、高成長イメージは持ちにくい。想定仮条件水準の今期予想PERは10~11倍程度で、類似企業と比較して妥当な水準だろう。

公開規模については25億円程度となる見込みで、やや大型に位置付けられる。ベ

ンチャーキャピタル保有株はないものの、買い意欲の盛り上がり期待しにくいなか、需給懸念が強まるだろう。また、6/25はメニコン<7780>、ファンデリー<3137>が同時上場するため、資金分散の影響を強く受けるとみられる。

銘柄紹介

富士ダイス [6167・100 株] 6月25日 東証2部市場上場

2015年6月5日(金)
更新：8時52分
株式会社フィスコ

投資スタンスの見方

Aggressive (アグレッシブ)	積極的参加	投資収益率100%以上が見込まれる案件
Active (アクティブ)	やや積極的参加	投資収益率50%以上が見込まれる案件
Passive+ (パッシブ・プラス)	やや消極的参加	投資収益率20～50%未満が見込まれる案件
Passive- (パッシブ・マイナス)	消極的参加	投資収益率0～20%未満であり、マイナスの可能性のある案件
Negative (ネガティブ)	参加見送り	投資収益率がマイナスになる可能性が予想される案件

(重要事項(ディスクレマー))

株式会社フィスコ(以下[フィスコ]という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものではありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少する事もあり、価値を失う場合があります。

本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大する事を保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

フィスコおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ



本資料のご留意事項

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料は、SBI証券が、株式会社フィスコが信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。

本資料の著作権、知的所有権等一切の権利は株式会社フィスコに帰属しますので、許可なく複製転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の支店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書は当該銘柄の取扱証券会社のホームページ等で入手いただけます。

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者

登録番号：関東財務局長（金商）第44号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会